



様々な学習や行事などを通して成長した2学期が終了！そして冬休み突入！！

いよいよ長い2学期が終わろうとしています。汗を拭きながら体育館で始業式をしたのは8月27日でした。そして、まだ雪は積もらないものの、寒さが身にしみるこの季節まで、子どもたちは多くの学習と経験を通して、大きく成長してきました。もうすぐもう通知票「のびゆく子」に、一人一人の成長の足跡が書かれています。親子で振り返りながら、まず子どもさんの成長を認めてほめてください。子どもさんは、照れながらもきっと、3学期への意欲が高まることでしょう。

さて今月号は、今学期に開催した2つの大きな研究会についてお伝えしながら、子どもたちの学びの様子を振り返っていききたいと思います。「島根県特別支援教育研究大会」と「安来市学校人権・同和教育推進連絡協議会一中ブロック研修会」では、県内・市内から、教育関係者をはじめたくさんの方においでいただき、本校の授業を公開して、お互いに研修を深めました。

研究内容としては、昨年度までの算数中心から、特別支援教育や人権・同和教育へと大きく方向が変りましたが、これまで子どもたちが身につけてきた力をベースに、さらによりよい授業のあり方、子ども同士のかかわり方などについて、4月から取り組んだ成果を発表することができました。

校長としてとてもうれしかったのは、当日の授業者だけが一人でがんばるのではなく、各学年部で繰り返し協議を重ねながら、同じ指導案で他の教員が授業をして見せたり、当日の授業者が他のクラスで授業したりするという姿があったことです。この研究会を受け身でとらえるのではなく、一人一人が実力アップのために前向きに取り組んでくれました。そして教員同士が切磋琢磨して研究を進めました。また、職員全員で駐車場から受付、授業会場の設営などなど、当日の運営を分担して行いました。あたり前と言えばそれまでですが、それをみんなでやり遂げ、終わった後に感じる充実感…。まさに社日ファミリー（今風に言えば「ワンチーム」）で乗り切ったことを心から嬉しく思います。これからも、様々なことに対して、みんなの力を結集してがんばっていききたいと、強く思う今日この頃です！



島根県特別支援教育研究大会 10月16日（水）

安来一中校区（全4校）を会場に行われた研究会。本校は、なかよし学級（ ）の「クッキー屋さんを開こう2」という授業を公開しました。

昨年度から取り組んできたクッキーづくり。その販売を通して、友達やお客さんとのかかわり方を学んできました。今回はさらに、様々な場面で自分なりに判断したり、ともに協力したりすること、そして言葉遣いに気をつけながら接客することにもチャレンジしてきました。また地域の方からおからを提供いただき、それを入れたおからクッキーにするなどグレードアップもしました。

当日は授業者1名に子ども1名という授業になりましたが、とてもアットホームな雰囲気のもと、参加者からは、たえず笑みがこぼれるような温かい授業となりました。参加者が次々とお客さんになり、言葉のキャッチボールをしながら販売しました。素敵なクッキー屋さんは最後まで大繁盛でした。

- 参加された先生方からの感想です。
- ・温かい空気は何よりもいいなと思いました。先生と児童との関係性ができており、うらやましく思いました。
 - ・いろいろな人との多様な会話が体験できてよかったと思います。自然に出てくる言葉がたくさん見られてよかったです。何より、子どもが生き生きとはりきって力を発揮していてすばしかったです。
 - ・クッキーをつくることから、他クラスや地域へとどんどん広がっていった。私もこんなふうなつながりや広がりのある学習ができたと思いました。
 - ・児童が相手の目を見て話したり、丁寧な言葉遣いができたりと、日頃の積み重ねだと思いました。
 - ・とても温かい雰囲気の授業をありがとうございました。地域の方とのつながり、教員の方とのつながりが、とても温かい雰囲気をつくっていることを改めて感じました。私も母校で、またがんばりたいと思います。
 - ・経験を積んで積み上げて、自信をもってできる姿、堂々とした姿を見せていただき、私もとっても嬉しくなりました。



初対面の方にも、明るく爽やかに対応できました！

安来市学校人権・同和教育推進連絡協議会 一中ブロック研修会 11月26日（火）

一中校区の小中学校4校で順に開催しているこの研修会は、人権・同和教育に視点をあてた授業を公開し、一中校区の全教職員と地域の方が参加して研修を深めるために行われています。約100名の方々においでいただき3つの授業を公開しました。1学期からプレ授業を行ってお互いに研修を深めながら、子どもたちがより主体的に取り組み、考えを伝え合いながらともに高まり合う授業のあり方を中心に研究を進めてきました。当日のそれぞれの授業について紹介します。

1年道徳「やさしいきもちで「くりのみ」」（ ）

ねらい きつねがうさぎの優しさにふれ、心が動く姿を通して、相手の気持ちを考え、温かい心で接することの大切さに気づき、思いやりをもって親切にしようとする態度を育てる。

自分の考えを伝えるためにワークシートに書いたり、役割演技を取り入れたりしました。振り返りの場面では「自分タイム」を取り入れ、わがこととして考えやすいように工夫しました。授業を見た方からは、1年生できちんと話を聞けることに感心した。自分ごととして振り返っていたなどと、多くのおほめの言葉をいただきました。



自分の書いた意見をもとに「役割演技」をしました！

3年道徳「すなおにあやまる心「よごれた絵」」（ ）

ねらい 図工室の友達の絵に誤って汚れをつけてしまい、その絵を描いた友達に葛藤しながらも正直に謝る「ほく」の心情や行動を考えることを通して、過ちを素直に反省することの大切さや良さに気付かせ、実際の日常生活でもごまかさず、正直に伝えようとする判断力や心情を育てる。

最初に「今日のワード」、終末に「自分タイム」を設けることで、児童が主体的に考えるようにしました。また自分の考えをもった後、自由交流をして、多くの友達の考えを聞いたり、さらに深く考えたりできるようにしました。自分ごととして考え語っていた、よく聞き反応がよかった、教師の問いかけによって深い話し合いになった、など嬉しい意見が聞かれました。



次々と意欲的に発言する子どもたち

6年2組社会「世界に歩み出した日本」（ ）

目標 ・荊冠旗や資料から気づいたことをもとに、水平社を立ち上げた西光万吉の思いや願いについて考えることで、差別された人々が自らの力で差別をなくそうと水平社を結成したことに気付く。
・様々な人々の人権を大切にするとともに、偏見や差別の不合理を理解し、自分の問題として考え、協力して解決しようとする意欲をもつ。

直接的な内容を扱う人権・同和教育学習の授業でした。資料やその提示方法を工夫するとともに、互いの考えを伝えたり高めたりするために、付箋に書き込み「まなボード」を使ってグループで意見を交換しました。児童の真摯な学習態度やKJ法の手法などがすばらしいとほめていただきました。また差別をなくすためには、まさに自分ごととして考え続けなければいけないことを再確認する場となりました。



「まなボード」で意見交換しました

「分かる」「できる」「楽しい」「もっとやりたい」…そんな授業をめざして、今後も研究を続けます！

さあ冬休みが始まります。ご家庭にお子さんをお返しするこの2週間。短いですが、何かと気が緩みがちで、生活リズムが狂いやすい年末年始です。規則正しい生活を送り、3学期のスタートがスムーズにできるよう、ご家庭でもルールをつくるなど、ご指導のほどよろしくお願いします。そして1月8日には、また笑顔でみんなに会えることを楽しみにしています。

今学期も、学校の教育活動等へのご理解とご協力をいただきありがとうございました。みなさまお揃いでよいお年をお迎えください。 3学期以降も、どうぞよろしくお願いいたします！

1月の行事予定

8（水）始業式	15（水）学年集金日
9（木）給食開始 午前中授業	23（木）授業公開日
10（金）学校集金日	28（火）スクールカウンセラー来校
14（火）漢字計算大会	31（金）新入生一日入学
スクールカウンセラー来校	ふれあい作品展（プラーナ：4日まで）
※2月の授業公開・学級懇談は13日（木）の予定です。	

